



FRANKLIN
TEMPLETON

LM・ブラジル国債ファンド (年2回決算型)

運用報告書 (全体版)

第26期 決算日 2021年9月13日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	年2回の決算日(原則として毎年3月13日及び9月13日。休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)」は、2021年9月13日に第26期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

(旧：レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社)

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配 金	騰 落 率			
	円		円	%	%	%	百万円
22期(2019年9月13日)	13,826		0	△ 4.0	97.7	—	7,370
23期(2020年3月13日)	11,420		0	△17.4	98.3	—	7,413
24期(2020年9月14日)	10,986		0	△ 3.8	98.2	—	6,198
25期(2021年3月15日)	10,692		0	△ 2.7	98.6	—	5,103
26期(2021年9月13日)	11,253		0	5.2	98.5	—	4,797

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期首) 2021年3月15日	円		%	%	%	%
	10,692		—	98.6	—	—
3月末	10,387		△ 2.9	98.0	—	—
4月末	11,132		4.1	98.2	—	—
5月末	11,454		7.1	97.7	—	—
6月末	12,155		13.7	97.6	—	—
7月末	11,714		9.6	99.8	—	—
8月末	11,456		7.1	99.5	—	—
(期末) 2021年9月13日	11,253		5.2	98.5	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

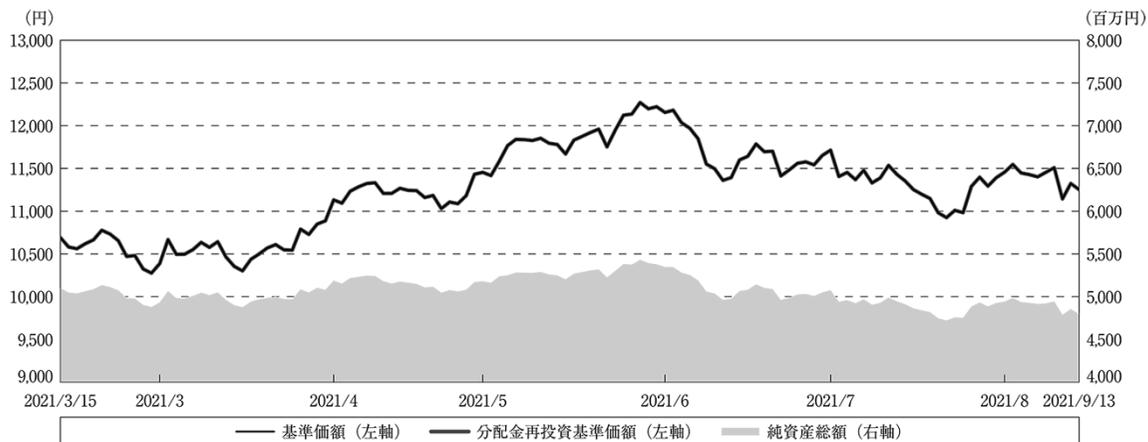
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年3月16日～2021年9月13日)



期首：10,692円

期末：11,253円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 5.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年3月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラスとなりました。

債券利回りの上昇を受けて、公社債損益がマイナスとなりましたが、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから公社債利金を手堅く確保したことに加え、ブラジルリアル高・円安を反映して、為替損益もプラスとなりました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、2021年3月および5月にブラジル中央銀行（BCB）が、インフレリスクへの対応のために金融政策委員会（COPOM）で政策金利の引き上げを行うとともに、引き続き追加利上げの姿勢を示したことなどを受けて、利回りは上昇しました。

期の半ばは、堅調な経済指標を受け、利回りは徐々に上昇しました。BCBが、6月にも政策金利の引き上げを決定したことで、利回りは上昇しました。また、改めて爾後の金融政策についてタカ派的姿勢を示したことも、更なる利上げ観測につながり、利回りの下支えとなりました。

期の後半において、BCBは8月にも政策金利を引き上げました。利上げは4会合連続となり、8月の利上げ幅はそれまでよりも大きい引き上げ幅となりました。BCBは、9月に予定されている会合でも「8月と同規模の調整を予測している」としました。このようなBCBの金融政策におけるタカ派的姿勢や、深刻な干ばつによる水力発電所の貯水量減少で電力料金が値上げされるなどインフレ懸念が継続する中、債券利回りは上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

期の前半は、新型コロナウイルス感染拡大がリアル相場の重しとなりましたが、BCBによる政策金利の引き上げ決定や追加利上げ方針を受けて、債券利回りが上昇したことが、リアル高につながりました。

期の半ばは、中国政府による取引規制の影響により、鉄鉱石をはじめとする資源価格が下落したことなどから、リアルは軟調となる場面もありましたが、堅調な経済指標やBCBによる利上げ観測を背景に、リアルは堅調となりました。しかしその後、新型コロナウイルススワクチン購入における保健省の汚職問題などの政治リスクや世界的なウイルス感染拡大に対する懸念から、リアルは下落しました。

期の後半は、BCBによる金融引き締め姿勢などにより、リアルは下支えされましたが、税制改革審議の遅れや財政の悪化懸念、米国のテーパリング（量的緩和縮小）に対する懸念などから、リアルは軟調な展開となりました。当期末にかけては、金利先高観が引き続きリアルの下支え要因となりましたが、ボルソナロ大統領と裁判所や議会との対立などの政治的混乱からリアルは不安定となる局面もみられました。

ブラジル国債（2年物）利回りの推移



ブラジルリアル／円レートの推移



当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金

(2021年3月16日～2021年9月13日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第26期
	2021年3月16日～ 2021年9月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,154

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年3月16日～2021年9月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	97	0.850	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(47)	(0.411)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(47)	(0.411)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	9	0.081	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.065)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(1)	(0.011)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	106	0.931	
期中の平均基準価額は、11,383円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

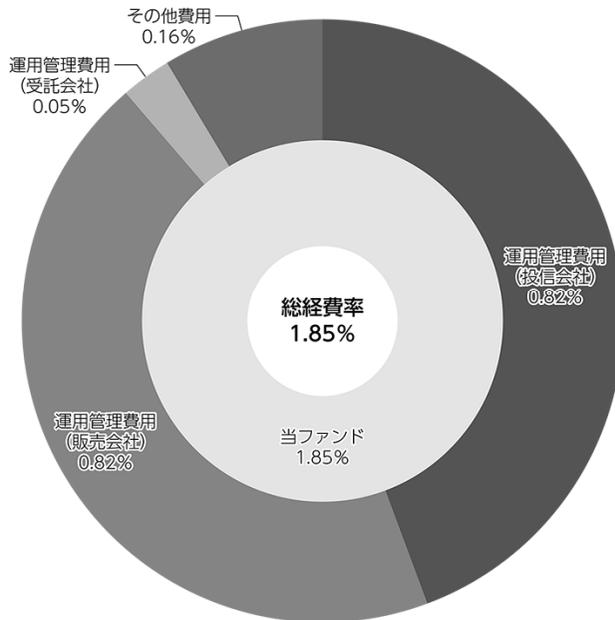
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年3月16日～2021年9月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 61,475	千円 87,212	千口 502,050	千円 712,570

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年3月16日～2021年9月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2021年3月16日～2021年9月13日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年3月16日～2021年9月13日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年9月13日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 3,839,881	千口 3,399,306	千円 4,841,292

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年9月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
LM・ブラジル国債マザーファンド	千円 4,841,292	% 99.2
コール・ローン等、その他	37,998	0.8
投資信託財産総額	4,879,290	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(29,590,220千円)の投資信託財産総額(29,951,388千円)に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月13日における邦貨換算レートは1米ドル=109.98円、1ブラジルレアル=20.9594円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月13日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	4,879,290,959	
LM・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	4,841,292,394	
未収入金	37,998,565	
(B) 負債	81,916,511	
未払解約金	37,998,565	
未払信託報酬	43,105,402	
その他未払費用	812,544	
(C) 純資産総額(A－B)	4,797,374,448	
元本	4,263,110,996	
次期繰越損益金	534,263,452	
(D) 受益権総口数	4,263,110,996口	
1万口当たり基準価額(C/D)	11,253円	

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

4,773,446,420円

期中追加設定元本額

77,433,730円

期中一部解約元本額

587,769,154円

○損益の状況 (2021年3月16日～2021年9月13日)

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	278,966,591	
売買益	326,504,661	
売買損	△ 47,538,070	
(B) 信託報酬等	△ 43,917,946	
(C) 当期損益金(A+B)	235,048,645	
(D) 前期繰越損益金	△1,303,027,105	
(E) 追加信託差損益金	1,602,241,912	
(配当等相当額)	(4,649,552,317)	
(売買損益相当額)	(△3,047,310,405)	
(F) 計(C+D+E)	534,263,452	
(G) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(F+G)	534,263,452	
追加信託差損益金	1,602,241,912	
(配当等相当額)	(4,649,816,169)	
(売買損益相当額)	(△3,047,574,257)	
分配準備積立金	958,227,499	
繰越損益金	△2,026,205,959	

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期
(A) 配 当 等 収 益(費用控除後)	145,646,389円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収 益 調 整 金	4,649,816,169
(D) 分 配 準 備 積 立 金	812,581,110
分 配 対 象 収 益 額(A+B+C+D)	5,608,043,668
(1 万 口 当 たり 収 益 分 配 対 象 額)	(13,154)
収 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 たり 収 益 分 配 金)	(0)

<お知らせ>

<合併について>

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、2021年4月1日付でフランクリン・テンプレトン・インベストメンツ株式会社を吸収合併し、商号を「フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社」に変更致しました。

<主な約款変更に関するお知らせ>

当ファンドおよび当ファンドの主要投資対象である親投資信託「LM・ブラジル国債マザーファンド」の信託約款中の委託者名を「レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社」から「フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社」に変更しました。

(変更日：2021年4月1日)

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2021年9月13日現在）

<LM・ブラジル国債マザーファンド>

下記は、LM・ブラジル国債マザーファンド全体(20,849,852千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルレアル 1,382,050	千ブラジルレアル 1,382,556	千円 28,977,544	% 97.6	% 97.6	% —	% 9.7	% 87.8
合 計	1,382,050	1,382,556	28,977,544	97.6	97.6	—	9.7	87.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
国債証券	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	126,300	126,087	2,642,710	2021/10/1	
	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	407,900	403,886	8,465,214	2022/1/1	
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	708,900	714,457	14,974,594	2023/1/1	
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	138,950	138,125	2,895,025	2025/1/1	
合 計					28,977,544		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

LM・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第13期 決算日 2021年3月15日

(計算期間：2020年3月14日～2021年3月15日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第13期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中率			
9期(2017年3月13日)	円 17,469		% 37.8	% 96.9	% —	百万円 67,945
10期(2018年3月13日)	17,757		1.6	96.9	—	60,032
11期(2019年3月13日)	17,432		△ 1.8	97.0	—	51,018
12期(2020年3月13日)	14,082		△ 19.2	97.3	—	46,112
13期(2021年3月15日)	13,415		△ 4.7	97.7	—	32,984

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落			
(期首) 2020年3月13日	円 14,082		% —	% 97.3	% —	% —
3月末	13,810		△ 1.9	98.1	—	—
4月末	13,377		△ 5.0	97.4	—	—
5月末	13,421		△ 4.7	97.3	—	—
6月末	13,562		△ 3.7	96.4	—	—
7月末	13,928		△ 1.1	98.8	—	—
8月末	13,388		△ 4.9	98.6	—	—
9月末	12,781		△ 9.2	97.7	—	—
10月末	12,318		△ 12.5	97.5	—	—
11月末	13,309		△ 5.5	96.8	—	—
12月末	13,815		△ 1.9	96.3	—	—
2021年1月末	13,243		△ 6.0	99.2	—	—
2月末	13,194		△ 6.3	98.6	—	—
(期末) 2021年3月15日	13,415		△ 4.7	97.7	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年3月14日～2021年3月15日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。ブラジルリアル安・円高を反映して、為替損益が大幅なマイナスとなったことが主に影響しました。公社債損益についても、若干のマイナスとなりました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが若干上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、新型コロナウイルスの感染が広がり金融市場が混乱する中、ブラジル中央銀行（BCB）が追加利下げや積極的な流動性供給策を打ち出したことなどを受け、利回りは低下（価格は上昇）しました。その後も、主要国の経済活動再開により世界経済への回復期待が高まる中、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなどから、利回りは低下基調となりました。

期の半ばは、欧米においてウイルス対策のため経済活動自粛の動きが広がったことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、利回りは上昇しました。また、BCBが2020年10月の金融政策委員会（COPOM）で、インフレ見通しを上方修正したことも、利回りの上昇につながりました。

期の後半は、米大統領選挙の結果を受けて米政局を巡る不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスワクチンの早期実用化への期待が高まったことなどを受けて、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことから、利回りは一時低下しました。しかし、その後、米国国債利回り上昇の影響などから、ブラジルの利回りも上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けてリスク回避の動きが強まったことや、BCBによる積極的な金融緩和策を受けて、リアル売り・円買いが優勢となりました。その後は、主要国の経済活動再開を受けてリスク回避姿勢が和らぎ、リアルが一時買い戻されるなど、値動きの激しい展開となりました。

期の半ばは、BCBによる追加利下げや米中関係の悪化懸念などを背景に、リアルは対円で上値の重い展開となりました。その後も、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、リスク回避の動きが強まったことから、リアル売り・円買い



が優勢となりました。

期の後半は、新型コロナウイルスワクチンの早期実用化への期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後は、米国国債利回りの急速な上昇などを受けて、リスク回避姿勢が強まったことから、リアル売り・円買いが優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年3月14日～2021年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 23 (23)	% 0.174 (0.174)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	23	0.174	
期中の平均基準価額は、13,345円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年3月14日～2021年3月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 778,927	千ブラジルリアル 731,676 (466,880)

(注) 金額は受渡し代金。（経過利息分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年3月14日～2021年3月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	33,050,031,227
コール・ローン等	103,690,026
公社債(評価額)	32,225,820,385
未収入金	365,661,933
未収利息	354,469,404
前払費用	389,479
(B) 負債	65,949,521
未払解約金	65,948,766
未払利息	755
(C) 純資産総額(A-B)	32,984,081,706
元本	24,587,299,519
次期繰越損益金	8,396,782,187
(D) 受益権総口数	24,587,299,519口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,415円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	32,745,533,541円
期中追加設定元本額	1,198,419,487円
期中一部解約元本額	9,356,653,509円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	19,530,972,596円
LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	3,839,881,515円
LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)	1,216,445,408円

○損益の状況 (2020年3月14日～2021年3月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,735,150,950
受取利息	2,735,361,861
支払利息	△ 210,911
(B) 有価証券売買損益	△ 4,784,877,562
売買益	229,556,940
売買損	△ 5,014,434,502
(C) 保管費用等	△ 66,412,056
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,116,138,668
(E) 前期繰越損益金	13,367,014,328
(F) 追加信託差損益金	422,712,540
(G) 解約差損益金	△ 3,276,806,013
(H) 計(D+E+F+G)	8,396,782,187
次期繰越損益金(H)	8,396,782,187

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。